

(5) WG 9：地震の影響

部会長：C. W. Felice（アメリカ）

副部会長：H. Yu（中国）

担当理事：I. Fikiris（ギリシャ）

本 WG は、地震の影響に関する設計、計測、建設、維持管理等の考え方をまとめ、ガイドラインの発出を目標とする。対面参加とオンラインで 20 名が参加し、日本からは河田（東京都立大学）と岡崎（広島工業大学）、田村（東京都立大学学生）が対面参加した。部会長、副部会長の改選は、過半数の合意で現職の継続となったが、担当理事より WG の刷新のため 1 年間限定措置との意見が出され、以下の議題検討と報告があった。

- ・WG 2 との連携に関する報告
- ・カナダのトンネル規格の紹介
- ・各国の耐震設計の基準や規定を取りまとめたドキュメントがレビュー中との報告
- ・断層と交差するトンネルに関するガイドラインを WG メンバーで査読することの決定

日本からは、フェイルセーフの考え方の議論を報告した。また、液状化に関する各国の事例のレビューや、耐震設計のためのサイト特性の評価（WG2 と共同）、立坑の耐震設計（WG23 と共同）について進めていくことが議論された。日本の耐震設計基準や考え方に各国から高い関心が寄せられ、今後も継続的に情報提供を行う。

（文責：河田皓介・東京都立大学）

WG9 の活動状況はこちらから

[Working Group 9: Seismic Effects](#)